

第20回

ネオクラシック コンサート

～音楽とお話でつづる午後のひととき～

岐阜県交響楽団演奏会

オーケストラの“ひみつ”発見

バレエ音楽「白鳥の湖」

P.I.チャイコフスキー 作曲

「大きな古時計」の主題による変奏曲

H.C.ワーク 作曲 田中陽治 編曲

他

指揮者コーナー

指揮とお話 田中 陽治



管弦楽 岐阜県交響楽団

2019年12月15日[日] 14:00開演(13:20開場)

瑞穂市総合センターサンシャインホール

〈一般〉1,000円 〈中学生以下〉500円

チケット取扱

瑞穂市総合センター事務局

〈チケットぴあ予約専用電話〉

0570-02-9999 (Pコード 161-384)



【URL】 <http://pia.jp/t/>

※チケットぴあスポット、セブンイレブン、ファミリーマートで、直接お買い求めいただけます。
※お近くの中日新聞販売店でもお買い求めいただけます。9月1日10:00から、販売開始いたします。

※不可抗力による興行中止の場合の払戻しは、令和元年12月16日から令和2年12月15日までに所定の手続きをされた場合に限り行います。

お問い合わせ 〈瑞穂市生涯学習課〉058-327-2117 〈洋楽部会〉090-8150-6114(役)

主催:瑞穂市 共催:瑞穂市教育委員会・瑞穂市文化協会 協力:瑞穂市文化協会洋楽部会

第20回 ネオクラシックコンサート

～音楽とお話でつづる午後のひととき～

〈出演者プロフィール〉



たなか ようじ

〔指揮とお話〕 田中 陽治

大学在学中の1976年、岐阜市の交響詩「長良川」初演（作曲者 團伊玖磨氏指揮）にコントラバス奏者として岐阜県交響楽団に加わり、以来今日まで40年間以上にわたって演奏活動を続けている。

また1988年に「ぎふ中部未来博サマーコンサート」の指揮を担当したことをきっかけに指揮法を学び始め、これまでに120回を超える岐響演奏会を指揮している。県内各地で行われる演奏会において、小中学校教員としての豊富な経験を生かした企画、司会進行を担当して好評を博している。

さらに、オーケストラ音楽の魅力を分かりやすく伝えようと「大きな古時計」の主題による変奏曲「うたのどうぶつえん」「ほくの わたしの1ねんかん」などの管弦楽曲の作曲やさまざまな楽曲の編曲にも取り組んできている。

指揮法を松尾昌美氏（大阪音楽大学名誉教授）、コントラバスを梅原慎平氏（NHK交響楽団団友）、作曲法を兼田敏氏（故人）に師事。中央教育審議会専門委員（芸術）、2012ぎふ清流国体テーマソング選定委員長を歴任。現在、岐阜女子大学教授。



〔管弦楽〕 公益社団法人 岐阜県交響楽団

1953年、岐阜交響楽団として発足。長年にわたる活動が認められ2011年3月「公益社団法人 岐阜県交響楽団」となる。楽団員は110余名で、様々な職業人で構成しているアマチュアオーケストラである。

活動は、年3回の自主公演を中心に各地の学校や地域での演奏活動、岐響ジュニアオーケストラの育成など、地域に根ざした音楽文化普及と向上発展に熱意と情熱をもって貢献している。

1998年専用の練習場が完成。2003年創立50周年にはサントリーホールにて「東京公演」を、2009年創立55周年にはウィーン楽友協会にて「ウィーン公演」を開催し大成功をおさめた。また2013年創立60周年ではマーラー作曲交響曲第2番「復活」を演奏し、力強いメッセージを発信した。

1984年「地域文化功労表彰」（文部大臣）、1999年「ふるさと文化賞」（岐阜市）、2007年「岐阜新聞大賞」（岐阜新聞）を受賞。今後、ますますのレベルアップを図り、郷土の皆さまに、いっそう誇りをもっといただけるオーケストラを目指し、努力を続けている。